

令和8年度第2回埼玉県感染症対策連携協議会 議事録

1 日時 令和8年8月3日（月） 18時30分～19時20分

2 開催方法 Microsoft Teams によるオンライン開催

3 出席者

【委員】（26名出席）

会場：金井忠男委員、丸木雄一委員、縄田敬子委員、本多麻夫委員

オンライン：松山眞記子委員、岩崎彩委員、浅野聖子委員、武笠真由美委員、澤登智子委員、前川哲雄委員、坂木晴世委員、

篠塚望委員、遠藤俊輔委員、池田徳幸委員、内田常子委員、関森初義委員、白石恵子委員、和田浩司委員、星野光弘委員、

山下博一委員、桑島昭文委員、丸山浩委員、岡本浩二委員、青木龍哉委員、荒井和子委員、佐藤卓史委員

【事務局】山口医療政策局長、得津保健医療部参事兼感染症対策幹、関口感染症対策課長及び担当者

感染症対策課担当者（楡井副課長、渡邊副課長、小針主幹、武田主査、大谷主査、山中主査）

保健医療政策課担当者（小泉副課長、伊藤主任）

【傍聴者】一般の傍聴希望者なし

4 議題

（1）感染症予防計画の進捗状況について

（2）感染症予防計画の中間見直しについて

（3）患者移送体制の整備状況について

（4）令和8年度に実施予定の訓練・研修について

（5）結核病床 基準病床数の見直しについて

（6）市町村行動計画の改定状況について

（7）自宅療養者等への健康観察・生活支援に係る市町村連携について

（8）県行動計画に係る取組の進捗状況について

5 内容

資料に基づき事務局及び保健所設置市より説明した。

【主な意見】

議題（２）感染症予防計画の中間見直しについて

- 指標から感染症専門研修受講者数の項目をあえて削除する必要があるのか。例えば、目標値である 542 人を維持していくことを目標として掲げる考え方もあるのではないかなと思う。施設や設備だけでは十分ではなく、そこで従事する人材の質や専門性を維持・向上させていくことも極めて重要である。こうした人材の確保・育成が担保されてこそ、危機管理上、有事の際に円滑な対応が可能になるものとする。研修は平時における重要な投資であり、人材育成を継続していくためにも、感染症専門研修受講者数については、あえて指標から外す必要はないのではないかなと考える。

議題（４）令和８年度に実施予定の訓練・研修について

- 高齢者施設等への研修・訓練について実施を望む意見もあることから、確実に取り組んでいただきたい。

議題（７）自宅療養者等への健康観察・生活支援に係る市町村連携について

- 自宅療養者の健康観察について、保健所設置市は、法律に基づき自宅療養者の健康観察を実施することとなるが、患者数が増加した場合には、前回の新型コロナウイルス感染症対応時と同様に、外部委託による対応を行わざるを得ない状況も想定される。市が単独で、24 時間体制による健康観察を実施できる委託事業者を確保することは、非常に困難ではないかと考えている。県と保健所設置市との間での情報共有のあり方や費用負担のあり方など、さまざまな課題があると思うが、コロナ禍の対応方法を参考としながら、よりよい方向で検討を進めていただければと考えている。